

# 神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>  
神奈川県衛生研究所

## 第 176 号

平成 19 年 11 月 5 日発行  
病原体検出は平成 19 年 6 月分

### 話題

## 今シーズンの腸管出血性大腸菌感染症の動向（2）

### 1 患者発生動向

今シーズン（4月～8月）の腸管出血性大腸菌感染症の患者発生報告は、神奈川県では 124 例報告されました。前年の同シーズンに比べ 22 件増加していますが、藤沢市及び県域では 2007 年の同シーズンの発生数は前年に比べ少なくなっています。

### 2 分子疫学解析（パルスフィールドゲル電気泳動（PFGE）解析）

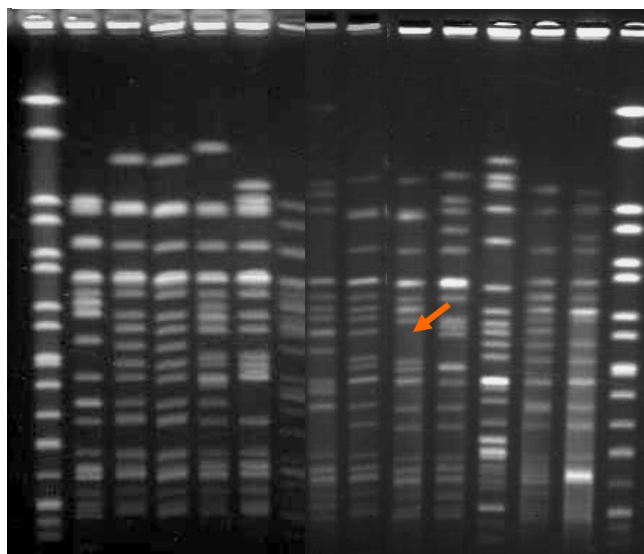
今シーズンの県域の患者発生報告数は 18 件でしたが、医療機関の協力により 13 件の患者分離菌株が収集され、分子疫学解析（PFGE）を実施しました。下図に示した PFGE パターンによるとレーン 2 と 3 は一致、また、レーン 8 と 9 はラインが 1 本異なるがほぼ一致の結果が得られました。その他はすべて、異なるパターンを示しました。

表1 発生報告数（H19年4月～8月）

	報告数	EHEC感 染症患者	無症状病 原体保有 者	H18年 報告数
総計	124	-	-	102
横浜市	61	-	-	26
川崎市	28	-	-	25
小計（横浜・ 川崎を除く）	35	27	8	51
横須賀市	7	6	1	3
相模原市	8	5	3	4
藤沢市	2	1	1	4
県域	18	15	3	40
平塚	2	1	1	4
鎌倉	0	0	0	2
小田原	0	0	0	7
茅ヶ崎	7	7	0	9
三崎	1	0	1	0
秦野	3	3	0	1
厚木	3	3	0	8
大和	2	1	1	7
足柄上	0	0	0	2
津久井	-	-	-	0

（NESIDデータより）

M 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 M



（微生物部提供）

これら一致したパターンを持つ 2 事例については、共通食の有無の調査を行いました関連性の特定はできませんでした。このように、医療機関からの届け出による散発事例の分離菌株の PFGE 解析を行い早期の感染拡大防止に活用しています。

一方、食中毒等の事例から得られた患者分離菌株及び食品由来株について、PFGE 解析を実施し、その由来の同一性を確認し、感染源の推定に役立てています。

（企画情報部 折原直美）

# 病原体検出

表 1 病原体検出状況(保健所等別) 平成 19 年 6 月

	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査												病原体定点 1				合 計		
	平塚保健所	鎌倉保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	県域外発生関連調査	横須賀市保健所	相模原市保健所	藤沢市保健所	計	小児科	インフルエンザ		眼科	基幹
病原細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC)			1									1						1
	毒素原性大腸菌(ETEC)								7				7						7
	サルモネラ 07群			1									1						1
	サルモネラ 09群								1				1						1
	カンピロバクター・ジェジュニ	1					5		1			4	11	1					12
	ウエルシュ菌								1				1						1
	計	1		1	1		5		10			4	22	1					23
ウイルス・リケッチア	ポリオ 1													1					1
	コクサッキー A10													2					2
	エンテロ 71													4					4
	麻 し ん													2					2
	アデノ 5													1					1
	単純ヘルペス 1													1					1
	ロ タ													1					1
	ノ ロ								15				15	3					18
	サ ボ							1					1	2					3
	アストロ													1					1
計							1	15				16	18					34	
合 計	1		1	1		5	1	25			4	38	19					57	

1：病原体定点の検出数は横須賀市、相模原市、藤沢市も含めた定点の合計を計上した。( )は海外渡航者数。

## <検出状況>

- 6月の病原体検出数は合計57件、細菌23件、ウイルス34件であった。
- 感染症および食中毒発生に伴う行政検査等では細菌が22件、ウイルスが16件検出された。  
5月に比べて検出が細菌は29件から57件と、ウイルスは9件から34件と増加した。
- 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が1件、ウイルスが18件検出された。
- 保健所管内別の病原体検出状況は表1のとおりである。

表 2 病原細菌検出状況(臨床診断別) 平成 19 年 6 月

	感 染 症										食 中 毒	有 症 苦 情	( 依 保 菌 者 検 査 ) 1 査	合 計	
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	百 日 咳	淋 菌 感 染 症	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎					細 菌 性 髄 膜 炎
検 査 検 体 数					1		9	1			1	47	67	1,558	1,699
腸管出血性大腸菌 (EHEC)					1										1
毒素原性大腸菌 (ETEC)													7		7
サルモネラ 07群														1	1
サルモネラ 09群												1			1
カンピロバクター・ジェジュニ							1					5	6		12
ウエルシュ菌													1		1
計					1		1					6	14	1	23

1 : 依頼検査(保菌者検査)は、横須賀市、相模原市、藤沢市を除く。

<検出状況>

- ・ カンピロバクター・ジェジュニが食中毒等事例から 12 件、感染性胃腸炎患者から 1 件検出された。
- ・ サルモネラ 07 群の 1 件は無症状病原体保有者からの検出であった。
- ・ 腸管出血性大腸菌 0157(VT1&2 保有)が届出患者の家族より検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別) 平成19年6月

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成18年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	平成19年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	1	3	6	7	1	16	1	49						1	1
毒素原性大腸菌(ETEC)			5	2	2			9				1		7	8
その他の大腸菌	2		1	1	1	1	11	28	1	4	1	2	1		9
パラチフス A菌															
サルモネラ O4群		1				1		2		1					1
サルモネラ O7群	1	1						6					2	1	3
サルモネラ O8群	1							2							
サルモネラ O9群					4			5	1					1	2
腸炎ビブリオ			3					3							
エロモナス・キャピエ															
プレジオモナス・シゲロイデス									1						1
カンピロバクター・ジェジュニ	8	2	8	1	6	2		38	1	4	1	15	9	12	42
カンピロバクター・コリ	1							1				1			1
カンピロバクター・ジェジュニ/コリ												1	1		2
黄色ブドウ球菌			4				7	12	4			13	2		19
ウエルシュ菌						2	11	93	1	7			16	1	25
セレウス菌							1	1							
赤痢菌 ( <i>S. flexneri</i> )										1					1
赤痢菌 ( <i>S. sonnei</i> )			1	1	1		2	5							
A群溶血レンサ球菌	14	2					1	39		1	4		3		8
コリネバクテリウム・ウルセランス		1						1							
淋菌		3	2	1				6							
マイコプラズマ・ニューモニエ					1			1							
レジオネラ・ニューモフィラ	2	2	9	7	3	2	1	27							
合計	30	15	39	20	19	24	35	328	9	18	6	33	34	23	123

: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

< 検出状況 >

- ・ カンピロバクター・ジェジュニが、5月に引き続き12件検出された。

表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断名別) 平成19年6月

	ウエストナイル熱	ツツガム病	デング熱	急性脳炎	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	風しん	ヘルパンギーナ	麻疹(成人麻疹を除く)	流行性耳下腺炎	インフルエンザ様	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	成人麻疹	その他	食中毒様	合計
取り扱い検査件数						2	15	7		2	2	1					17	55	101
ポリオ 1								1											1
コクサッキー A10								1		1									2
エンテロ 71								4											4
麻疹											2								2
アデノ 5																	1		1
単純ヘルペス 1																	1		1
ロタ							1												1
ノロ							3										13	2	18
サポ							2											1	3
アストロ							1												1
計							7	6		1	2						15	3	34

< 検出状況 >

- ・ 食中毒様事例から、サポウイルスが1件検出された。また、ノロウイルスが他府県関連の食中毒様事例およびその他から15件、小児科定点から3件、計18件検出された。
- ・ 小児科定点の感染性胃腸炎患者から、ロタウイルスが1件、ノロウイルスが3件、サポウイルスが2件、アストロウイルスが1件検出された。ノロウイルス2件を除き、乳幼児からの検出であった。
- ・ 手足口病患者7検体からポリオウイルス1が1件、コクサッキーウイルスA10型1件、エンテロウイルス71型が4件検出された。感染症発生動向調査による6月の患者報告数については増加傾向を示している。
- ・ 麻疹ウイルスが2件、乳幼児から検出された。

表5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別) 平成19年6月

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成18年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	平成19年累計
インフルエンザ AH1								45				1			1
インフルエンザ AH3								173	10	44	25	1			80
インフルエンザ B	1							3	25	11	18	2			56
パラインフルエンザ 1								2							
パラインフルエンザ 2						1		1							
R S							1	2							
ポリオ 1														1	1
コクサッキー A4	15	5	1					25							
コクサッキー A5		1			2	1		4							
コクサッキー A10		1	1					2						2	2
コクサッキー A16	3	7	8	6	5	2	1	33			1	1	1		3
コクサッキー B3				1				1							
コクサッキー B5		1	1		2	1		5							
エコー 18	1		3	4				8							
エコー 30		1						1							
エンテロ 71		1		1		1	1	4	1				5	4	10
ムンプス				3				7							
麻しん													1	2	3
アデノ 1								1							
アデノ 2								1	1		1				2
アデノ 3	1	4		1				18	1						1
アデノ 4		1						2		1					1
アデノ 5													1		1
アデノ 37								1		1				1	2
アデノ 40/41	2							2							
アデノ(型未決定)						1		2	1						1
単純ヘルペス 1			1		1	2	1	8	3	1				1	5
ロ タ							1	33	1	2	7	4	5	1	20
小 型 球 形	1							1							
ノ ロ					10	248	333	737	86	60	37	35	6	18	242
サ ボ							4	5	2	4	1		4	3	14
アストロ													1	1	2
デ ン グ				1				1							
未 同 定		1	1	1				3							
リエンチア ツツガムシ					1	2	1	4							
合 計	24	23	16	18	21	259	343	1135	130	124	90	45	24	34	447

< 検出状況 >

- ・ ロタウイルスが、昨年12月から毎月検出されている。
- ・ ノロウイルスが、昨年10月から毎月検出されている。
- ・ サボウイルスは4月をのぞき、昨年12月から検出されている。
- ・ 麻しんウイルスが5月、6月と連続して検出された。

表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況 平成19年6月

(神奈川県衛生研究所検出)

検査検体数	病原細菌検出数及び検査検体数													
	食 品						環 境							
	6月			1-6月累計			6月				1-6月累計			
	食中毒等 収去検査	その他	その他	食中毒等 収去検査	その他	その他	海水 <sup>1</sup>	浴槽水等	食中毒等	その他	海水 <sup>1</sup>	浴槽水等	食中毒等	その他
検査検体数	97	67	10 <sup>2</sup>	306	242	36			69		29	17	277	14
サルモネラ 04群			1		2	3								
サルモネラ 07群			4		4	7								
カンピロバクター・ジェジュニ			5			9								
カンピロバクター・コリ			3			3								
レジオネラ・ニューモフィラ 6群											1			
計			13		6	22						1		

1：河川水を含む。

2：4検体から複数分離

サルモネラ07群とカンピロバクター・ジェジュニとカンピロバクター・コリの同時検出が2検体

サルモネラ07群とカンピロバクター・ジェジュニの同時検出が2検体